

令和6年度 第1回けやきの学校

『わたしが創ってきた絵本のはなし。いろいろ』 お話 すとう あさえ（駒場幼稚園理事
長）

◎ 参加（視聴）された方の感想 ◎

*今回対面での参加予定でしたが、次男が前夜に熱を出し学校を欠席してしまったので残念ながら zoom 参加でした。画面越しですが次男が「理事長先生だ！」とお会いできたことをとても嬉しそうにしていました。お話の間はウロウロとしていたのですが、あさえ先生が絵本を読み出すとパッとやってきて膝に座り聞きながら「これ、さくら組の時に読んでもらったよ！」と言い、感想も述べている姿を見て、絵本を身近で親しみ、絵本と共に過ごした3年間だったのだなと改めて嬉しくなりました。あさえ先生のちょっとした出来事やお感じになったことが、こんなにも膨らんで素敵なお話になっていくという過程を絵本を聞きながら感じる事ができたのは楽しく貴重な時間でした。文と絵の組み合わせがどのように決められているのかも、いつも気になっていたのも興味深く聞き入りました。長男が小さい頃にお母さんがお化けになってしまう絵本が流行り、私は（自分も病気をし
て経過観察中だったのと私が幼少期に読んでいたら恐怖で不安になると思い）息子が目にして怖がってしまったらどうしようと悩んでいたことがあったので、お盆について子どもたちにどう伝えるかをとても悩まれたお話に大変共感しましたし、ホッとしました。上記の本のように最近も、ここまで書かなくても想像できるのになと思う絵本を見たのですが、絵本を作る際に（出版社毎や一般的に）規則的なものはあるのでしょうか？また、あさえ先生が心がけていらっしゃることもありましたらお聞きしてみたいです。以前の講演会で教えていただいた行事の本とデーデをさっそく購入して、今もいつでも手に取れるように本棚に置いてあります。兄弟で電車が大好きなのでデーデは中学生の長男も真剣に読んでいました。（中学3年生（駒場幼稚園育ち）ですが、次男が借りたり買ってきた絵本は今でも必ず読んでいます）ぜひ機会がありましたら、デーデのお話も聞いてみたいです。

*久しぶりの幼稚園で久しぶりの対面参加となり、すごく楽しい時間でした。あさえ先生の絵本制作のお話、貴重なお話ばかりでとても興味深かったのですが、なかでも読者の方とのお手紙を介した交流についてのお話はとても印象に残りました。1冊の絵本がひとりの人生に、しかも小さな子どもの人生に多大な影響を与えたという事実が非常に感慨深かったです。繰り返し読まれていた回数も数え切れない感じで驚かされました。あさえ先生の感性も誰にも真似できない唯一無二のもので、計り知れないパワーを感じます。そして、読み聞かせを通じて寄り添う大人の存在も欠かせなかったという点も考えさせられました。実は我が家も、上の子が入園する10日前に下の子が生まれたので、似たような状況でした。環境がいっぺんにいろいろ変わってしまい、きつともうすごく大変だったと思います。上の子は、入園したての頃、園ではひとりでひたすら園庭のお花に水をやったり、保育室のキッチンで洗い物の真似事をし続けたりしていたそうで、家ではやはりお気

に入りの絵本を繰り返し読んでいた気がします(前述の子ほどではないですが、笑)。きっと彼女なりの方法で心を落ち着けていたのでしょうね。(当時ゆっくりと寄り添ってくださった先生方にも改めてお礼をお伝えしたいです。) 我が子は 2 人とも小学生になりましたが、絵本はいつになってもそばにいて支えてくれるものなのかなと感じます。あさえ先生の絵本、我が家でも大活躍しています。行事の絵本は、子どもが時折開いてその時々、季節の行事について確認しています！これからも先生のいろいろな思いが素敵な絵本の誕生に繋がることを、楽しみにしております！

* 久々に幼稚園に行き、「帰ってきたー！」という感じがしました。今日のお話は、とても心にスッと入ってきて、思わず涙ぐんでしまう部分もありました。子供たちの手が少し離れたからこそ、染みるものがあるのかもしれない。卒園してから、絵本に触れる機会が少なくなったような気もしていましたが、絵本って良いな、と改めて思えました。我が子達は二人とも同じように本の読み聞かせをしていたはずなのに、本を読む頻度にはだいぶ差があります。本当に、その子の資質というか、持って生まれたものなんだろうな、と思います。どうしたら息子がもっと本好きな子に育つのかと聞かれることもありますが、全く分かりません。きっと、本で良い経験をした時に開花するんだろうなと思いました。とはいえ、娘が凄く本好きなだけで、息子も充分本に触れているとは思っていますが。あさえ先生の絵本は、文章を先に考えて、後から絵を描いて頂いて調整していくのかなとお見受けしましたが、イメージをすり合わせるのが難しかったりはしませんか？ 今日、絵本を読んで頂いて、絵だけに集中して話を聞くと大人にはなかなかない、素敵な経験だなと感じたんです。絵本にとって、絵はとても大事なものだと思うので、話だけ考えるのって難しいのでは！？と勝手に思ったりしました。なんとなく絵のイメージも考えながらお話を作っているのでしょうか。最後になりましたが、卒園式では絵本を読んで頂きありがとうございました！ 駒場幼稚園で、自然や絵本にたっぷり触れる生活が送れたことを、とても嬉しく思っています。

* 卒園してからもこのような機会があること、とても嬉しいです。あさえ先生のお話がとっても楽しくて、あっという間でした。毎晩寝る前に読み聞かせをしているのですが、その日の夜は『ざぼんじいさんのかきのき』と『れいちゃんのきせつのせいかつえほん』を読み、優しい気持ちに包まれて眠りました。あさえ先生が話してくださったエピソードを早速息子にも話しました。貴重なエピソードありがとうございました。『行事とあそびのえほん』は愛読本です。月はじめに読むと、その月の行事を確認することができてとても助かっています！日本の昔からの行事が詳しく書いてあるので勉強になります。あさえ先生が仰っていたように、季節、自然の変化を大切に、生活していきたいです。大事なことです。子どもにも伝えていきたいと思います。息子は小学 2 年生になりましたが、まだ一緒に絵本を読んでもくれます。いつまで一緒に読んでくれるか分かりませんが(笑)この時間を大切に過ごしたいと思います。あさえ先生の講演会、次回も楽しみにしております！！ありがとうございました。

* 駒場幼稚園の屋上での、とかげちゃんのエピソードが絵本になっていたと聞いて、温かい気持ちになりました。あさえ先生の、日々の暮らしの中での、ちょっとした、でも大切なことへの視線、自然の中で色んなことを感じ取っていらっしやる所、とても素敵だなあと感じました。また、日常のお話も色々としてくださり、チャームングで暖かいお人柄が伝わってきました。私は小学校で図書ボランティアをしています、これからも、先生がおっしゃったように、絵本のチカラを信じて、子どもと絵本をつなぐ架け橋のような存在でありたいと、改めて感じました。大好きな幼稚園の園舎で、あさえ先生のお話を聞き、園長先生の笑顔に心癒され、そして久しぶりの友人たちとも再会でき、本当に充実した温かい時間を過ごすことができました。参加させていただき、ありがとうございました。

* 「五感で感じることを大切に。」というお話にとっても共感でした。五感を使って遊んだり、五感で自然の移ろいを感じたりすることで、感動が増し、幸せを感じられる瞬間が増えることを実感しています。五感を使わないこと、使いすぎる事、間違っ使用することで、感覚は鈍感になることも同時に感じています。子どもたちは感覚が鋭く、大人には感じきれないところまで、全身で感じているのが素敵だと思いつながら、時に感覚が敏感なことで、心地悪さを感じていることもあるようです。渋谷の匂い、繁華街のモスキート音、満員電車の空間、ヒートテックの肌触りなど、大人には慣れてしまったこと、鈍感になって特別何も感じないことが、我が子達には不快に感じるようです。どうか子ども達が豊かな感覚を保ちながら、心地よく生きられる社会を、大人の私たちが作っていきたく強く思います。長くなりましたが、そんなことをあさえ先生のお話を聴きながら考えていました。

* すとう先生のお話がとても面白く、あつという間の1時間半でした。卒園してもこのような機会をいただき感謝いたします！絵本には、子どもだけでなく大人にも与える力があるのだなあと改めて感じました。すとう先生の子どもの頃のお話を聞きながら自分の子どもの頃を思い出し、草の匂いや風の匂い、風景を思い出していました。我が子たちが家の中で暴れ出すと、ついつい「外で遊んで来てー！！！」と叫んでしまうのですが、時々一緒に公園へ行って、草の匂いや風の匂いを感じたいと思います。「ざぼんじいさんのかきのき」と「子どもと楽しむ行事とあそびのえほん」早速注文しました。今度、あさえ先生にサインをいただきにまた幼稚園へ遊びに行きます！講演会、やはり対面がオススメです！

* 思わず何度もウルウルとしてしまう素敵な講演ありがとうございました。えーんえんえんのお話し特にグッときて『絵本をつなぐ大人の存在』という先生の言葉に、私もこの子達と絵本をつなぐ存在になりたいなあと思いました。『面白くなければ途中で読むのやめちゃっても良いのよー』なんて言って下さる先生のお人柄にも触れられて、私、無自覚に何だかかまえて絵本をセレクト&読んでいたなあと気がつきました。子供の好きな本、私の好きな本をこれからゆっくり読んでいきたいなと思えました。ありがとうございました。

*すとう先生のお話を聞きながら、すごく自分の想像力が常にはたらいっていたように思います。絵本を聞きながら、絵本の中に入っていき心地よさを体験させていただき、とってもワクワクする時間でした。自分が子どもになったような、そんな貴重な時間でした。私自身は、幼い頃絵本や本を読むことが、あまり好きじゃなかったような記憶があります。しかし、子どもができてから、絵本が身近な存在に変わりました。大人の本のように長くないので、読みやすさもあり、手にとりやすくなりました。本はそれぞれとても個性があり、読み手が感じる感想もそれぞれ、それでよい。そんな時間を親子で共有できるのは、素敵な事だなと改めて感じ、最近本を前のように読んであげれていなかったのも、機会を増やしていけたらなと思いました。また、すとう先生の「行事とあそびのえほん」は、よく通った子育てひろばにあるので、拝見して、季節の行事の参考にさせていただいておりました。ここ何年間か息子が夢中になりすぎていたゲーム、視力低下により、生活を一変して、お外で過ごす時間を家族で増やし始めていた私にとって、先生のお話は、心に染みるものでした。先生の、自然の中におこる小さな事をキャッチできる感受性を私も家族で肌で感じて、喜んで、楽しんで生活したいと思いました。「きせつのせいかつえほん」も読んでみたいと思いました。私たち家族にとって、たくさんヒントをいただきました。ありがとうございました。

*先生がご自身にも、子供達にも大切にしていらっしゃる感覚や価値観に触れることができ、大変勉強になりました。私の漠然とした質問に丁寧にご返答を頂き、本当にありがとうございました。個性を育てることの土台はどこだろうかという悶々とした思いからでしたが、個々の感覚を大事にするという根幹を再認識することができました。またぜひお話を伺いたいです。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

*すとう先生の、日常の一場面を物語に膨らませられる創造力に驚きました。生まれつきの才能なのか？訓練で鍛えられるものなのか？またお話しを伺いたいです。娘に、すとう先生に娘が書いた絵本を読んでもらった事を伝えたと、喜んで2作目を書き始めました。特にこうしたら？と言う事は無かったのですが、物語に1つ展開が生まれていました。褒め続けてみようと思います。ありがとうございました。

*大変楽しい時間でした。日本の伝統的な季節行事を絵本経由で親子で学べることは素晴らしいと思いました。